

『ナーシングエイド研修』 研修会実施報告

感染対策・接遇研修

- 日時 : 1) 令和2年6月16日(水)
2) 令和2年6月30日(水)
- 対象者 : ナーシングエイド 介護福祉士
- 参加者数 : 40人
- 目的 : 1) 感染症について理解することができる
手指衛生、ガウンテクニックを身につけることができる
2) 医療現場での接遇について理解することができる

<講師の紹介>

4 B病棟 係長
3 B病棟 主査



<内容>



研修の前半は感染対策についての研修でした。

講義では、院内の標準予防策（スタンダードプリコーション）、感染経路別の予防策などを学び、実技では正しい方法での手指衛生とガウンテクニックを学びました。病院で働くうえで自分自身が感染源にならないようにすること、また自分自身を感染から守ることの必要性が理解できたと思います。

後半の接遇研修では「医療現場での接遇とは」「高齢者とのコミュニケーション」「クレーム対応」などを学びました。グループワークでは、チェックシートを用いてお互いの身だしなみを確認し合いました。また各グループで

「なぜ接遇が必要なのか」をテーマに意見交換をしてもらい、それぞれのグループで発表してもらいました。ナーシングエイドには病院で働く職員の一人として、一人一人が病院の顔であることを自覚した接遇を習得してもらう必要があります。今回の研修を通して、学んだことを日々の業務にも活かしてほしいと思います。